入院時に持参してください 説明日(/) 説明者氏名( STA6400010-0 / ) / )~( / ) 月日(日時) ( / ) ~ ( / )( / 手術直後~集中治療室(SICU) 経過(病日等 手術当日朝 手術後8~14日目 入院日 手術前日 手術後3~6日目 術後7日目 手術に向けて準備をします 血圧・脈拍が安定している ▶リハビリ進行表に沿って歩行ができる 【退院・転院基準】 呼吸が安定している ◇血圧・脈拍が安定している 達成目標 ◇呼吸が安定している 痛みがコントロールできる 傷に問題がない ◇発熱など感染のきざしがない ◇手術後検査が終了している 治療•薬剤 24時間持続した点滴があります (点滴・内服) 内服薬がある方は薬をお預 します 毎日体重を測ります 内服がある方は薬を確認し 21時に眠剤・下剤を飲みます 麻酔科医の指示で 手術前から内服してい 9 処置 |ます。ワーファリンを飲んでいる方|手術する部位の毛を剃ります |起床時に薬を内服する場合が る薬がある方は医師の 点滴に変わることがあります おへそをきれいにします あります 指示で薬を再開します 弾力ストッキングのサイズを 体にチューブ類がつい 創部の消毒とガーゼ交 創の状態が良け 測定し、準備をします ています 換をします れば.糸などをは 手術用の寝巻を渡します ずします。 手術用の寝巻に着替えます 手術後3~6日で胸の管 が抜けます 血液検査があります 胸のレントゲン・血液検 心エコー・心電図 検査 杳があります 胸のレントゲン 血液検査があります 入院中の行動節囲を医師に トイレまでゆっくり歩いて 8時~9時頃、手術室に行きます 手術当日はお薬で眠っ ベッド上で安静にしま みましょう。その後、徐々 確認しお知らせします 活動 安静度 に進行表に沿って行動範 ています しょう 囲を広げましょう 理学療法士、看護師によるリハビリが始まります 人工呼吸器がはずれる 歩き初めは、ふらつくこと ナースコール・ベッド柵を設置 抑制について説明します までは、安全の為に手 します がありますので、ナース 安全 運動靴の使用をお願いします を抑制する事がありま コールを押してください 医師の指示により水分制限 食事の指示(絶食)の時間と ▶ 医師の指示で水分を取 🔨 0 がある場合があります 飲水の指示(絶飲)の時間は る事ができます。その 食事 後、食事が始まります 麻酔科の指示が出たらお知ら 心臓に負担がかからないように、水分の制限が必要です せします 医師の指示により 体を清潔にし髪を洗って下さい洗面・歯磨きをして下さい 体拭きをします 傷の状態が良ければ7日目からシャワー 清潔 入浴・シャワー・体拭きを 爪切りをしてください 男性の方は髭剃りもして下さい に入れます 行います 尿の管が入ってきます 便意をもよおした時 排便はポータブル 尿の管を抜きます 排泄 は、ベッド上で便器か トイレで行います オムツで排泄します 病棟の案内をします 夕方、麻酔科医の診察がありま入れ歯・補聴器・時計・指輪・湿布・ 痛みが強いときは痛み 2日目に7階のHCUへ移 手術が終わったら、7階 ワーファリンを内服してい (月曜日手術の方は金曜日か |眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなど 止めを使います。遠慮 手術までの流れについてわ のSICU(集中治療室) 動します る方は薬剤師から指 からないことは説明します 土曜日に診察があります) 手術室に行く前に必ずはずして下 へ移動します なく言って下さい 導があります 傷の保護方法につい 3日目に外科5階病棟へ て説明します 呼吸訓練を続けて行います |手術室看護師の訪問があり 貴重品は必ずご家族に預けてくだ 戻って来ます(術後の状況 患者様及び で変更があります) ★腹式呼吸・口すぼめ呼吸 ます 手術が終わり次第、電 ご家族への ★咳・痰出しの練習 呼吸訓練1日3回 診断書・証明書が必要 話で連絡致します。 説明 深部静脈血栓症予防の 痰をしっかり出して肺を な方は早めに提出して 【SICU入室期間の荷物について】 生活指導 広げ肺炎を予防しま 手術に必要な物品がそろって ため、足の運動を行いま ください。 禁煙はできていますか? 入院時に持ってこられた荷物は全 リハビリ いるか確認をしますので、1つ しょう しょう て、一旦持ち帰るか4階家族控え 栄養指導 薬剤師による薬の確認がありの袋にまとめてください(看護 転院または退院です 室のロッカー(有料)を使用してくだ 服薬指導 師が預かります) ます(薬を持参して下さい) 栄養士による栄養指導を受講できます 医師から手術についての説明があります 主治医からの説明があ 手術中、家族の方は4階の 家族控え室か自宅で待機して下さります 薬剤師による薬の説明が あります 担当の医療ソーシャルワーカー(MSW)がお話を伺いながら転院・退院までの支援を行います

注1:病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。 注2:入院期間については現時点で予想される期間です。